

第60回読書感想文感想画南部地区コンクール
読書感想文 優秀賞受賞品

一年 宮城美穂

「夢はきつと叶えられる」を読んで
「夢?」「美穂の夢は何?」とよく聞かれるけれど、なかなかすぐには答えられない。学校の図書館では、クラスメイト達から人気のある怖い話の本を借りて読む機会が多いが、この本は、自分自身に明るい希望を与えてくれると思ひ選びました。

『夢の叶え方はひとつじゃない』は、著者で、作詞作曲家、音楽プロデューサーの岡嶋かな多さんが、著者の体験談をもとに、中高生に対して座談会を開き、悩みや相談事に向き合いアドバイスを伝えます。音楽の世界で苦勞しながらも成功を掴んだ岡嶋さんは、数々の有名アーティストの作詞作曲を手掛けます。岡嶋さんが現在に至るまでの生き方や考え、そして、サクセスストーリーを描いた本です。

高校に進学する希望を持てなかった岡嶋さんは、音楽で誰かの夢を叶えたいという思いから、中卒で音楽スクールに入學します。高校に進学しなかった岡嶋さんに、私は驚きました。音楽の道を歩んでいく岡嶋さんに私は意志の強さを感じました。最初は、シンガソングライターやバンドのボーカリストを夢見て挑戦、挫折を繰り返すが、なかなか結果がついてきません。しかし、岡嶋さんは決して諦めません。また、幼少時代から、感受性が強いことにコンプレックスを抱き、自己肯定感の低さにも苦しみます。20代半ばから、身近な人から相談を受けるようになり、そして、「ありがたう!救われた」と感謝されたり、手掛けた曲を感じて、「希望が持てた」という感想を聞く機会が増えていきます。自分ができることに對して一生懸命向き合うことで誰かが笑顔になっているのを見ていくうちに、自己肯定感の低さから抜け出します。30代に入って、誰かのためになりたくて、人や仕事と向き合っているうちに、自己肯定感の低さやコンプレックスも個性だと信じます。

私が特に心に響いた文章は、「個性を見つけなきゃ!と焦っている人もいるかもしれない。個性は、もともと誰もが持っているもの。無理に探そうなんて思わなくても、生きていけば、自然に現れ出てくるもの、そして意外にも、自分が欠点と思っているところが、あなたの個性であり、誰かにとつての憧れだったりするんです。」という言葉です。なぜなら、私は、周りの同級生よりも背が低いほうで、もう少し身

長を伸ばすために、牛乳を飲んだりストレッチをしたり努力をしているが、周りとは比べて自分が小さく感じてしまっている、落ち込んでしまっているからです。だけど、それは自分だけが感じている思い込みで、身長が高くてそれをコンプレックスと感じている人もいて、みんなそれコンプレックスがあっても、著者の岡嶋さんのようにそれを個性と思えるようになりたいです。それから岡嶋さんは、本書の各章の中で中高生からの質問に一つずつ解答しています。それらの中で、私が特に心に残ったことは「学生のうちにやっておいたほうがいいことはありますか?」という質問に對して、岡嶋さんが、「たくさん遊ぶこと!夢を追いかけつつも、『心が震える体験』はたくさんしたほうがいいと思います。つまり感動する経験や、心がひりひりした経験がどれだけあるかで、その後の人生が変わってくる。」という解答です。私は、今までの『心が震える体験』は、誕生日やクリスマスや経験が増えることが楽しみですが、

私は、この本を読んで、10代の頃に自分の未来に絶望していた著者が、その後、たくさんの出会いに恵まれ、大きな夢を叶えていく姿にとても感動しました。現在は、私の大好きな歌手の作詞作曲をしていることも知り、岡嶋さんがどん底から這い上がり大成功して本当に嬉しいです。成功までの道のりで、たくさんの失敗や挫折を経験したと思います。ただ、諦めずに自分を信じて挑戦し続けることで夢は叶えられることを教えてもらい、私も心強くなれました。

私も、将来、「好きなこと」、「得意なこと」、そして、「需要があること」を見つけて、岡嶋さんのように楽しみなながら夢を叶えたいです。私は将来、医療関係の仕事に就きたいと考えています。理由は、私が物心がついた頃から、お母さんとおばあちゃん、それぞれ幅社と医療の現場で活躍していたからです。周囲の手助けが必要なお年寄りや、病気で苦しんでいる人達に笑顔と元気を届ける姿を見て、私も、人の役に立ち、やりがいのある仕事をしたと思うようになりまし。

夢はきつと叶えられる、と信じて、勉強や部活など、今、自分自身ができることを頑張りたい、これから夢に向かって一歩一歩、前進していきたいです。

三学期始業式生徒代表あいさつ

生徒会代表 上原優李菜

皆さん、明けましておめでとうございます。14日間の冬休みが終わりました、皆さんはどのようにお過ごしでしたか?

部活、勉強、など自分たちにとつて有意義な冬休みを送ることが出来ましたでしょうか。さて今日から3期が始まります。3年生にとつては、中学校生活最後の学期です。1、2年生にとつては、今の学年の締めくくりの期間であると同時に進級へ向けての準備期間でもあります。みなさん自分の目標を持ち悔いの残らない3学期にしていきましょう!

そしていよいよ私達を中心とする生徒会がスタートします。生徒会が活動していく中で思うようにいかないこともあると思いますが、先業方が築き上げて下さった生徒会を引き継ぎ、より良い高嶺中学校を作っていくように生徒役員、全校生徒が一丸となって精進してまいりますので、新生徒会をどうぞよろしくお願ひいたします。

三年生代表 山城達亜

昨日で冬休みが終わり、今年度最後の学期がスタートしました。皆さん、冬休みはどのような過ごししましたか?

三年生は受験生として勉強で忙しく、あまり遊びに行けなかったかもしれません。中学校での時間もいよいよ残りわずかとなりました。

二学期は、修学旅行や秋の甲子園、クリスマス演芸大会など、様々な学校行事がありました。これらの行事を通して、一・二年生とも交流でき、学校全体がとても盛り上がる事ができたと思います。三学期は、大きな壁である受験に向けて、より一層授業に集中して取り組み、入試に向けて自主学習を増やしていきたいと思ひます。そして、三年生全員が目指す、第一志望の高校に合格するために頑張りたいです。

冬休み中の一月一日に、石川県の能登半島で大きな地震がありました。毎日テレビで映し出される映像に、恐ろしいという気持ちでいっぱいになります。今、私たちに何かできることはないでしょうかと考へています。でも、まずは三年生に残された中学校生活を悔いなく一生懸命に過ごすことが大切だと思ひます。

中学校生活の最後の学期も、楽しい思い出にあふれ、みんなが満足のいく形で卒業式を迎える事ができるよう、仲間たちと共に、力を合わせ頑張っていきたいです。

二年生代表 玉城奏志

あけましておめでとうございます。令和6年、新しい年がスタートしました。3学期を迎えるにあたって、気が引きしまる気持ちで一杯です。

私達2年生の2学期を振り返ると、課題が2つありました。1つ目は、授業に向かう姿勢です。1分前着席ができない人が半分以上いました。また、チャイムが鳴ってから、ロッカーに教科書・ファイルを取りに行く人がいたり授業に向かう気持ち持が十分ではなかったです。

2つ目は、タブレットの使い方です。タブレットを使う時間に、YouTubeを見たり、ゲームをやったり漫画を読む人がいました。学校のルールを守れない人もいました。2学期の課題を改善して、充実した3学期を送りたいです。

自分自身の目標は、「各種検定の取得」です。現在、数学検定3級を持っています。今年こそ準2級に合格したいです。みなさんも検定にチャレンジしてください。

一年生代表 上原勇斗

皆さん、明けましておめでとうございます。今日から三学期がスタートします。一年の計は元旦にありという言達があります。僕の今年の目標は、尊敬する大谷翔平選手のように、他の人よりプラスの努力をすることです。大谷選手は、高校時代、井ぶり10杯に、更にプラス3杯多く食べていたそうです。食事だけでなく、野球の練習もプラスの努力をしていたそうです。

また、大谷選手は常に未来の自分を見据えて練習を重ねているそうです。課題が見つければ、そのマイナス要素をプラスに変えようと練習に励んでいます。うまくいかなかったことに対して大谷選手は反省して、色々と試し課題に向き合い、自分を磨いているそうです。その篠り返しをずっとやり続けている大谷選手。僕はそこが、大谷選手のすごさだと思ひました。僕たち1年生には、3つの課題があります。一つは、教室・廊下を走らない。2つ目は、トイレは休み時間。3つ目は、モノ・ヒトをたたかないです。みんなで、マイナスをプラスに変えていきましょう。

カラー版は後日本校ホームページにてご覧いただけます。

カラー版は後日本校ホームページにてご覧いただけます。